

東北地方 1か月予報

(5月4日から6月3日までの天候見通し)

平成14年5月3日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

天気は周期的に変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の気温は平年並で、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

気温は、1週目、2週目、3～4週目とも平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 5月 4日(土) ~ 6月 3日(月)

1週目 : 5月 4日(土) ~ 5月 10日(金)

2週目 : 5月 11日(土) ~ 5月 17日(金)

3～4週目 : 5月 18日(土) ~ 5月 31日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分 次回は5月10日

3か月予報：5月20日(月) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	14.1	150.7	197.1	12.5	13.5	14.8
新庄	14.7	102.7	183.2	12.7	14.0	15.6
若松	16.0	79.2	200.1	14.2	15.2	16.8
深浦	13.4	102.9	201.0	11.8	12.8	14.1
青森	13.6	76.7	211.7	11.9	13.0	14.3
むつ	12.5	90.9	207.6	10.9	12.0	13.2
八戸	13.4	86.0	208.5	12.0	13.0	14.0
秋田	14.7	116.8	195.9	12.9	13.9	15.4
盛岡	14.3	100.6	195.9	12.5	13.6	15.1
宮古	13.4	99.1	190.9	12.1	13.0	13.9
酒田	15.4	110.5	202.5	13.5	14.6	16.1
山形	15.9	81.5	203.7	14.1	15.2	16.7
仙台	15.3	107.1	197.3	13.8	14.7	16.0
石巻	14.4	97.5	205.4	12.8	13.8	15.1
福島	17.0	87.6	196.5	15.4	16.4	17.7
白河	15.3	121.2	187.8	13.7	14.6	15.9
小名浜	15.5	144.7	199.6	14.2	15.0	16.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.5	85~113	97~105
東北日本海側	-0.3~+0.4	83~113	96~105
東北太平洋側	-0.3~+0.4	81~111	97~107

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5~+0.9	-0.4~+0.7	-0.5~+0.5
東北日本海側	-0.6~+0.9	-0.4~+0.6	-0.5~+0.5
東北太平洋側	-0.5~+0.8	-0.3~+0.7	-0.4~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成14年5月3日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(5月4日~6月3日) :

天気は周期的に変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(5月4日~5月10日) :

明日(4日)と期間の中頃に気圧の谷の影響で天気の崩れる所がありますが、その他の日は東北北部を中心におおむね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(5月11日~5月17日) :

天気は概ね周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(5月18日~5月31日) :

天気は概ね周期的に変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

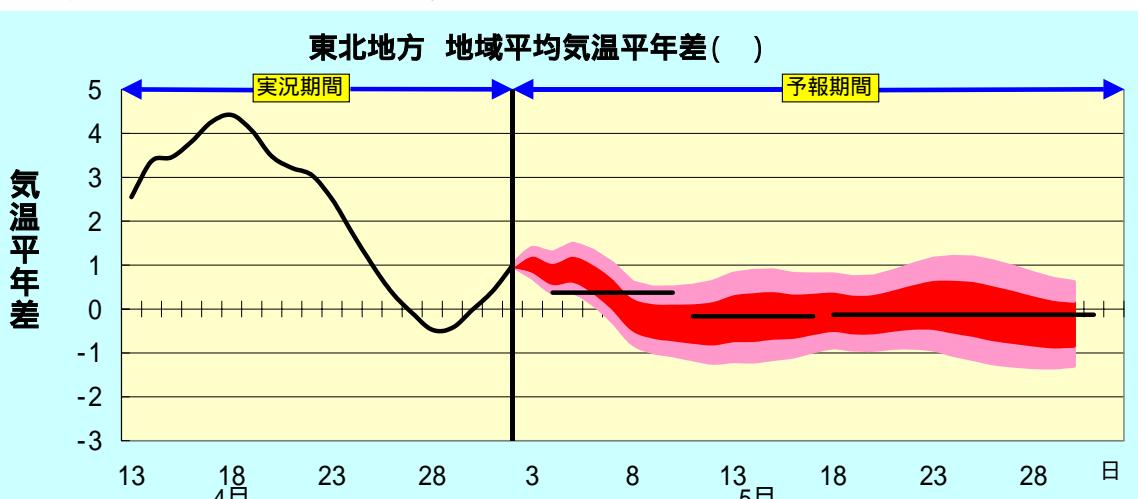
	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.4日	4.3日	3.8日	8.3日
東北太平洋側	16.4日	4.4日	3.8日	8.2日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と予測結果

気温は、1週目、2週目、3~4週目とも「平年並」を予測している。

予報は、1週目、2週目、3~4週目とも予測どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。



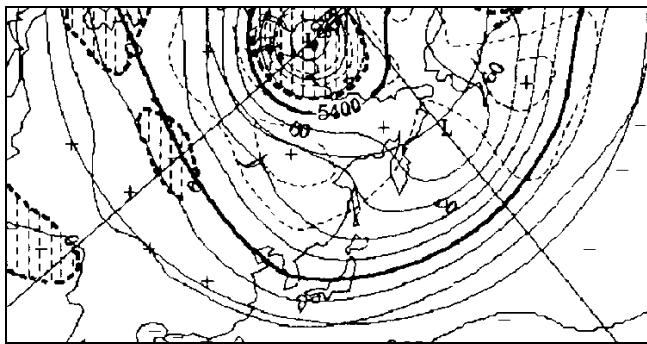
* 実況期間(図の左側)の太い実線：東北地方地域平均気温平年差の実況値。(7日平均値)

* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)

と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

* 水平な3本の実線：予報期間の1週目、2週目、3~4週目についての多数の平均。

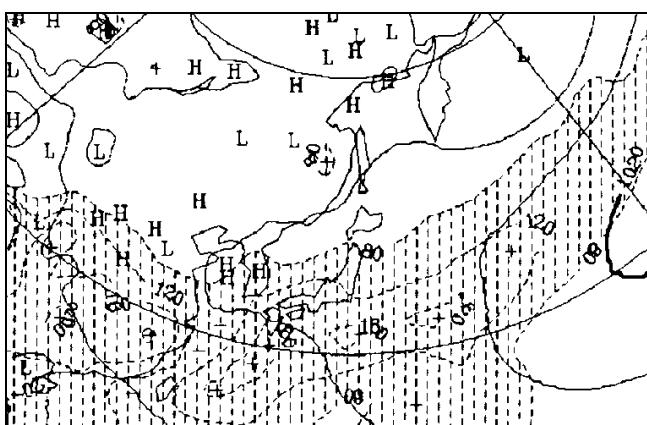
3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、シベリア付近に正偏差の中心があり、日本付近は弱い正偏差。偏西風の流れは東西流が卓越しており、天気は概ね周期変化する。

週別（図略）では、1週目はサハリンからカムチャッカ半島にかけて負偏差が予想される。2週目は月平均とほぼ同様。3~4週目は、日本付近は弱い負偏差に覆われ、オホーツク海には気圧の尾根が予想される。



地上気圧と降水量

月平均で見ると、日本付近に等圧線は無く、天気は周期的に変化する。降水域は日本の南岸を中心に帯状に予想される。

週別（図略）では、2週目以降、日本の南海上の高気圧は弱まる。3~4週目は500hPaの気圧の尾根に対応し、オホーツク海高気圧が平年より強い。

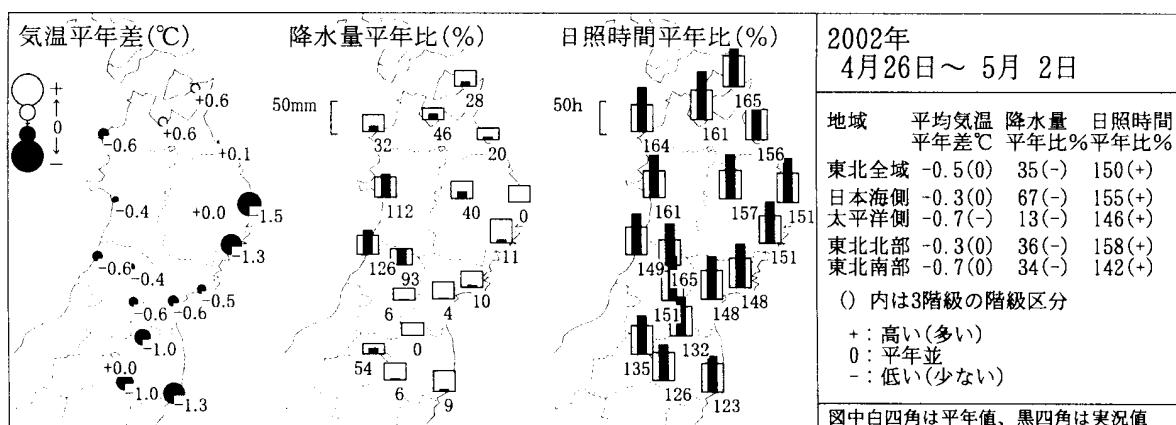
また、2週目以降は月平均と同様、日本の南岸にまとまった降水域が予想される。

4. 最近1週間（4月26日～5月2日）の天候の経過

30日は低気圧や前線の影響で天気が崩れ、東北日本海側を中心にまとまった降水となったが、その他の日は高気圧に覆われて概ね晴れた。

26日から29日にかけては大陸からの冷たい高気圧に覆われ、各地で気温が低くなった。このため、福島県では霜害が発生した。

平均気温は、東北日本海側で平年差-0.3と平年並、東北太平洋側で平年差-0.7と低かった。降水量は東北地方で平年比35%と少なかった。日照時間は東北地方で平年比150%と多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）